

ぎかいのトビラ



第41回市民ギャラリー作品展

【特集】市民インタビュー

市民の芸術作品を発掘

発表の場をつくりたい

はむら市民ギャラリー運営委員会

P2

No.128
令和2年(2020年)
2月1日発行
(通巻237号)

- 審議した主な議案
 - 市長提出議案 P 4
 - 委員会提出議案 P 5
 - 議員提出議案 P 5
 - 議決結果一覧 P 6
- 議会活動報告 P 7
- 市政について問う
 - 《一般質問》 P 8
- 常任委員会
行政視察報告 P17

市

民の芸術作品を発掘

発表の場をつくりたい

はむら市民ギャラリー運営委員会

市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支えている方が大勢います。議会として、そのような方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思えます。今回は総務委員会が担当しました。

【表紙の写真】
(令和元年 11月 21日撮影)
第41回はむら市民ギャラリー「切り絵」の会場



▶第42回目は立体絵本の展示を行いました

市内には、絵画、写真、水墨画、木工、能面、書道など、様々な創作活動をしている方々がいます。はむら市民ギャラリー運営委員会では、市内の施設を利用して、市民の作品を展示する市民ギャラリーを定期的に開催する活動をしています。

この活動始めた目的は

伊藤 武司さん (会長)

平成28年10月、多方面にわたり幅広く、市民の中に眠っている芸術作品に陽を当てようと考え、始めました。平成28年度に市の市民提案型協働事業に採択され、3年間は市の補助を受けました。数人の知人と運営を始めましたが、展示を見に来た方々への声掛けや、出展者を中心に、3年間で運営委員は12人に増えました。ギャラリー

は年間10回程度開催しています。皆さんの役割分担は

鈴木 君子さん

受付の仕事を担当。押し花の展示をすることもあります。

渡辺 助成さん

展示は日曜日から翌週の日曜日の8日間。開催前日に展示パネルや展示台をセッティング。搬入・搬出作業をすることも。

丹 鞠子さん

書道をやっているのですが、書でギャラリーの展示看板を書いています。



北田 久雄さん

機材の搬入や展示のレイアウトが大変。作品を傷つけないように気を付けています。



渡辺 助成さん

楽しくやっています。体が元気な限り、これからも続けていきたいです。

磯貝 充宏さん

ポスター張りは大変だが、工夫して続けたいです。

高橋 (百) さん

お手伝いが生きがいになっており、元気のもとにもなっています。これからも頑張ります。

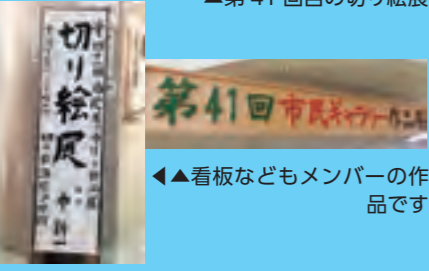
伊藤 武司さん

令和2年7月までは出展希望があります。他市の方から「羽村は発表の場があつてうらやましい」という声も聞くので、市外の方も出展できるようにしていきたいです。他の地域にもこういった活動が広がればいいです。運営メンバーも募集しているので、ぜひ仲間になってほしいですね。

はむら市民ギャラリー運営委員会
目的 市民の芸術作品の発表展示を行う
展示場所 コミュニティセンターなど
発足 平成28年
会員 12人
連絡先 090-6533-0229 伊藤
※メンバー、講演会・賛助会員募集中!



▲第41回目の切り絵展



◀看板などもメンバーの作品です

高橋 百合子さん



仕事で営業をしていたこともあり、来場者への声掛けやチラシ配りなどの宣伝を担当しています。

磯貝 充宏さん



ポスター作りをしています。回を重ねるごとに上達してきました(笑)。市内の掲示板への掲示と回収もしています。

出展者や展示への反応は

高橋 (知) 出展者は個人の場合やサークルなどグループの展示もあります。個人とサークルの比率

は半々です。

伊藤 武司さん 出展者は、市民の芸術愛好者で、展示する場所や費用がないという方々を中心。ギャラリーに来て運営委員の声掛けがきっかけで、その後出展した方もいます。1回の来場者は、最多が890人、平均500〜600人で、令和元年11月までの累計は1万7209人に達しました。

鈴木 君子さん 主にコミュニティセンターで開催しており、多くの人が知っている場所ということもあり、何かのついでに見ていく人もいます。高橋 (知) 無料で展示していることもあり、「羽村はすごいね」と言われました。

北田 久雄さん ラジオ体操に参加したついでにチラシを配っています。ギャラリーに来ることを楽しみにしている人もいます。仕事を引退した方や時間に余裕のある高齢の方などの活動意欲に火をつけられたらいいですね。

高橋 (知) さん

看板を書いたり押し花の展示をしたり、会の役に立っているかなと思っています。

丹 鞠子さん 発表の場があることが皆さんの目標や励みになっていると思います。とにかく楽しく活動できて

インタビューを終えて

運営委員の皆さんは、この活動を通して知り合ったとのこと。一人の思いと行動が、周りを巻き込み・繋がりが、広がって今に至っているのが、お話を通して伝わってきました。

お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

議

案審議

■第5回定例会(12月)に市長から提出された議案は、条例に関する議案5件、補正予算案2件、その他の議案4件、合わせて11件すべてを可決・同意しました。

■委員会提出議案は、決議1件、規則改正案1件を可決しました。

■議員提出議案は、意見書2件を可決しました。

■審査した陳情1件は採択となりました。

■主な議案の概要は次のとおりです。



市長提出議案

■77歳と99歳の方への敬老金を廃止、100歳以上の方に毎年5万円を支給

羽村市敬老金の支給に関する条例の一部を改正する条例

【主な内容】

・満77歳と99歳の方を支給対象から外し、満100歳、101歳以上の方を新たに支給対象とする。(満88歳は引き続き支給)

・100歳以上の方への支給額を5万円とする。

【施行日】 令和2年4月1日

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 敬老金の支給対象人数は。

A 88歳が264人、100歳が21人、101歳以上が30人を予定している。

Q 条例を改正した場合、経費はいくら変わるのか。

A 差し引きすると605万円の減額となる。

Q 77歳を支給対象から外した理由

由は。

A 行財政改革の意味も含まれるが、平均寿命がのびて、高齢者に対する福祉施策などが充実してきたことや、他市の状況なども踏まえて変更した。

討論

【反対】 行政のスリム化計画の1環として行われようとしている。西口区画整理こそ見直すべき。金額を減らしても多くの方に支給すべき。(日本共産党)

【賛成】 財政の立て直しが急務であり、他市と比較して高い補助金額の事業や羽村市独自の事業は見直すべき。(令和かがやき)

【反対】 敬老金の支給は見直すのが、西口事業へは増額を出資するという全体の支出バランスの悪さは認められない。(市民ネットワーク)

【賛成】 長寿社会になった現在では、77歳はまだまだ若い。対象者の増加や事業を取り巻く環境の変化等からも賛成。(公明党)

【賛成】 時代の変化による高齢社会に対応した支給額・年齢への改定であると考え、賛成。(新政会)

委員会提出議案

■天皇陛下ご即位に関する賀詞決議

天皇陛下におかせられましたは、日本国及び日本国民統合の象徴としてご即位になりましたことは誠に慶賀に堪えません。

世界の平和と我が国の繁栄が一層進展し、新しき令和の世が幾久しく続きますよう心から祈念申し上げ、ここに羽村市議会は謹んで慶祝の意を表します。

令和元年12月19日
東京都羽村市議会

【議決結果】 原案可決

■羽村市議会会議規則の一部を改正する規則

請願の審査報告に付す意見に関する規定を整理するとともに、文言の整理を行うため、規則の一部を改正するものです。

【施行日】 令和2年1月1日

【議決結果】 原案可決

議員提出案

■意見書を可決しました
白タク行為への更なる対策強化に関する意見書(抜粋)

羽村市議会は、国に対し、白タク行為について取り締まり等の対策強化などを行うよう強く要請する。

【提出先】 衆・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣、国家公安委員会委員長

【議決結果】 原案可決

「あおり運転」に対する厳罰化と更なる対策の強化を求め
る意見書(抜粋)

羽村市議会は、国に対し、「あおり運転」の根絶に向け、安全・安心な交通社会を構築するため、更なる対策の強化を求める。

【提出先】 衆・参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣、国土交通大臣、国家公安委員会委員長

【議決結果】 原案可決

幼児教育・保育の無償化に伴い条例を改正

羽村市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

【主な内容】

・幼稚園等を利用する場合の「子育てのための施設等利用給付認定」の創設に伴う改正

・利用者の実費負担となる副食費を施設が直接徴収することが可能に

・特定地域型保育事業の連携施設の確保義務の要件を緩和

【施行日】 公布の日

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 副食費の金額が条例に明記されていないが、どう定められているか。他市との金額の差は。

A 副食費は施設が決定する。協議の結果、全ての園で統一して4500円とした。近隣4市1町も同額。

Q 申請や事務はどう変わるのか。

A 幼稚園利用の場合は、無償化の認定を市で受ける必要がある。市は、これまでの認定に加え、約400人の認定事務が増加する見込み。

陳情

■天皇陛下ご即位奉祝賀詞に関する陳情書

議会において、天皇陛下ご即位の奉祝賀詞決議を奉呈してほしい。

【議決結果】 採択

討論

【不採択】 即位に関して祝意を表すことは個人の判断。議会が代表すべきではない。(市民ネットワーク)

【採択】 羽村市議会として賀詞決議をすべきである。(公明党)

【不採択】 市民の意見を聞くと、議会での決議の必要はないとのことであり、反対。(世論)

【採択】 憲法で定める天皇への儀礼的な祝意の表明を行うことには賛成できる。(日本共産党)

【採択】 天皇のご即位について、羽村市議会として慎んで慶祝の意を表すべきと考える。(新しい風)

※内容は要約しています。詳細はインターネット録画中継(12月6日・19日)でご覧いただけます。

議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に
関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

令和元年11月1日～令和2年1月31日の主な活動

- | | |
|--|--|
| <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日 ■ 令和元年第3回青梅、羽村地区工業用水道企業団議会定例会 7日～8日 ■ 第81回全国都市問題会議 8日 ■ 令和元年第2回東京都後期高齢者医療広域連合議会定例会に係る議案説明会及び保険料説明会 11日 ■ 令和元年第3回羽村・瑞穂地区学校給食組合議会定例会 15日 ■ 全国市議会議長会基地協議会関東部会総会 15日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会 15日 ■ 令和元年第2回福生病院組合議会定例会 15日 ■ 令和元年度東京たま広域資源循環組合議会議員及び事務連絡協議会合同行政視察 18日 ■ 全国市議会議長会基地協議会第95回理事会 19日 ■ 令和元年第2回瑞穂斎場組合議会定例会 20日 ■ 東京都議会議長会理事会／定例総会 21日 ■ 経済委員会行政視察(日野自動車株式会社古河工場) 21日 ■ 総務委員会市民インタビュー(はむら市民ギャラリー運営委員会) 22日 ■ 令和元年第2回東京都後期高齢者医療広域連合議会定例会 25日 ■ 令和元年第9回議会運営委員会 26日 ■ 羽村市議会タウンミーティング第5回実行委員会 28日 ■ 令和元年第2回西多摩衛生組合議会定例会 <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> 3日 ■ 令和元年第5回羽村市議会定例会(初日) 4日 ■ 令和元年第5回羽村市議会定例会(2日目) 5日 ■ 令和元年第5回羽村市議会定例会(3日目) 6日 ■ 令和元年第5回羽村市議会定例会(4日目) 6日 ■ 令和元年第4回羽村市基地対策特別委員会 10日 ■ 一般会計等予算審査特別委員会(補正予算) | <ul style="list-style-type: none"> 11日 ■ 令和元年第5回経済委員会 11日 ■ 令和元年第10回議会運営委員会 12日 ■ 令和元年第5回総務委員会 12日 ■ 令和元年第7回厚生委員会 13日 ■ 令和元年第6回総務委員会 16日 ■ 令和元年第11回議会運営委員会 17日 ■ 厚生委員会調査研究活動 17日 ■ 羽村市基地対策特別委員会調査研究活動 19日 ■ 令和元年第5回羽村市議会定例会(最終日) 19日 ■ 令和元年第1回羽村市議会改革推進委員会 20日 ■ 令和元年第10回広報委員会 20日 ■ 羽村市議会議員研修会「街づくりとこれからの図書館」 <p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> 14日 ■ 令和2年第1回東京都後期高齢者医療広域連合議会定例会に係る議案説明会 14日 ■ 令和2年第1回広報委員会 15日 ■ 瑞穂斎場組合行政視察 21日 ■ 東京都三多摩地区消防運営協議会第二部会 22日 ■ 羽村市議会議員研修会「羽村市財政分析と今後の課題」 22日 ■ 令和2年第1回羽村市多摩都市モノレール建設促進及び公共交通対策特別委員会 23日 ■ 令和2年第1回経済委員会 23日 ■ 令和元年度西多摩衛生組合議会議員行政視察 23日 ■ 行政視察受入れ(宮崎県小林市議会) 28日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会 28日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会 29日 ■ 全国市議会議長会基地協議会第96回理事会／第83回総会 30日 ■ 行政視察受入れ(鹿児島県喜界町議会) 30日 ■ 令和2年第1回東京都後期高齢者医療広域連合議会定例会 |
|--|--|

■市長提出議案の議決結果

<全会一致となった議案>

件名・概要	議決結果
羽村市下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例 <small>下水道事業が地方公営企業法の全部適用となるため、関係条例の一部を改正する。</small>	原案可決
羽村市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例 <small>災害弔慰金の支給等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正する。</small>	原案可決
羽村市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 <small>P5 参照</small>	原案可決
羽村市下水道事業の設置等に関する条例 <small>下水道事業を地方公営企業法の全部適用とするため条例を制定する。</small>	原案可決

件名・概要	議決結果
令和元年度羽村市一般会計補正予算(第4号) <small>歳入歳出それぞれ2億360万円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ230億9,100万円とする。</small>	原案可決
福生病院組合規約の変更について <small>福生病院組合の病院事業に地方公営企業法の全部を適用することに伴い、福生病院組合規約を変更する。</small>	原案可決
固定資産評価審査委員会委員の選任について <small>固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、秋山法氏を委員に選任したいので、議会の同意を求める。 【任期】令和元年12月20日～令和4年12月19日</small>	原案同意
羽村市動物公園の指定管理者の指定について <small>株式会社横浜八景島を指定管理者に指定する。 【期間】令和2年4月1日～令和6年3月31日</small>	原案可決
羽村市スイミングセンターの指定管理者の指定について <small>大和興産株式会社・特定非営利活動法人羽村市体育協会を指定管理者に指定する。 【期間】令和2年4月1日～令和6年3月31日</small>	原案可決

<賛否の分かれた議案>

件名・概要	会派名(数字は人数)								議決結果
	令	公	新	共	ネ	世	力	風	
羽村市敬老金の支給に関する条例の一部を改正する条例 <small>P4 参照</small>	(4)	(4)	(4)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	原案可決
令和元年度羽村市一般会計補正予算(第5号) <small>歳入歳出それぞれ440万円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ230億9,540万円とする。</small>	○	○	○	×	×	×	○	○	原案可決

■陳情の審議結果

件名	審査した委員会	会派名(数字は人数)								本会議での議決結果
		令	公	新	共	ネ	世	力	風	
天皇陛下ご即位奉祝賀詞に関する陳情書	総務	(4)	(4)	(4)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	採択

■委員会提出議案の議決結果

件名	提出した委員会	会派名(数字は人数)								議決結果
		令	公	新	共	ネ	世	力	風	
天皇陛下ご即位に関する賀詞決議	総務	(4)	(4)	(4)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	原案可決
羽村市議会会議規則の一部を改正する規則	議会運営	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

■議員提出議案の議決結果

件名	議決結果	件名	議決結果
白タク行為への更なる対策強化に関する意見書	原案可決	「あおり運転」に対する厳罰化と更なる対策の強化を求める意見書	原案可決

凡例

- 各会派の賛否 ■ 議案 / ○…賛成 ×…反対
- 陳情 / ○…採択 ×…不採択
- 会派名 ■ 令…令和かがやき 公…公明党 新…新政会 共…日本共産党
- ネ…市民ネットワーク 世…世論 力…つながる力 風…新しい風

会派名簿

<p>令和かがやき</p> <p>おつか 大塚あかね はむら 馳平 耕三 はまなか 濱中 俊男 みずの 水野 義裕</p>	<p>公明党</p> <p>なかじま 中嶋 勝 とみなが 富永 訓正 にしかわ 西川美佐保 いし い 石居 尚郎</p>	<p>新政会</p> <p>あきやま 秋山 義徳 いんなん 印南 修太 とみまつ 富松 崇 はしもと 橋本 弘山</p>	<p>日本共産党</p> <p>はまなか 浜中 順 ますき 鈴木 拓也</p>	<p>市民ネットワーク</p> <p>もんま 門間 淑子</p>	<p>世論</p> <p>やまざき 山崎 陽一</p>
<p>つながる力</p> <p>ただ たか 高田 和登</p>		<p>新しい風</p> <p>かじ 梶 正明</p>			

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。

般質問

一般質問とは、市が実施している施策全般についての議員の質問です。
第5回定例会では、
12月3日、4日、5日の3日間にわたり
17人の議員が一般質問を行いました。
その要旨をお伝えします。
※原稿は、議員自身が要約し作成しています。

《Q》夜間でも監視できる水位カメラの設置を

《A》国への要請とともに市独自の設置も検討

中嶋 勝 議員（公明党）



台風被害

多摩川河川について

質問 大正土手の整備延長へ早急な対策を。

市長 積極的に情報交換を行い、関係者との連携を働きかけていく。

質問 那賀樋管への逆流と排水ポンプアップ対策は。

市長 平成19年のかさ上げ措置が有効に機能し、逆流はなかったが、ポンプアップ対策はさらに強化を図る。

質問 市独自の水位カメラの設置を望む。

市長 国へ要請するとともに、市独自の設置も検討する。

質問 宮の下運動公園の復旧はいつか。

市長 国の激甚災害指定に



台風発生時の多摩川の様子

よる算定結果により、復旧時期を示したい。

質問 羽用水路への対応は。

市長 現在、水が流れない状況にあるため、積極的に関わり修復を支援していく。

財源確保への取り組みの充実を

質問 市税等収納率向上へ、さらに納税環境を整えるためにも、クレジットカード決済の早期導入を望む。

市長 他の電子決済の手段と合わせ、検討していく。

質問 3箇所の市役所連絡所廃止を検討しているが、約2700件の収納実績への対応は。

市長 併設の金融機関やコンビニ納付、口座振替等の納付手段を周知していく。

質問 公共施設へのネーミングライツの導入を。

市長 課題を整理したうえでガイドラインを作成し、令和2年度中には広く募集していく。



《Q》命を守る現実的で実効性のある避難体制の確立へ

《A》自助で重要なマイタイムラインの作成を推進する

富永 訓正 議員（公明党）



災害から命を守る計画を

自然災害からの地域防災計画の検証および地区防災計画の早期策定へ危機感をもつて取り組む必要がある。

質問 地域防災計画にタイムライン的な視点をより明確にすべきではないか。

市長 さらに見やすく、分かりやすい構成となるよう、計画修正の際に検討していく。

質問 命を守る現実的で実効性のある避難体制の確立への計画に見直す必要があり、ガイドライン等を整備し、周知が必要と考えるが。

市長 公助・共助・自助への取り組み強化や風水害に対する準備、避難に備えた「自助」で重要な「マイタ



羽村市の地域防災計画、防災マップなど

イムライン」の作成を推進する。

質問 公助が機能するまで、より減災に大きな力となるのが自助・共助。地域コミュニティでの地区防災計画の策定へ計画的な取組を。

市長 自発的な防災活動の計画であり、策定主体の地域住民の皆様への周知・啓発と、地域防災計画との整合性を図った支援体制の整備を図っていく。

内部統制への取り組みは

持続可能な組織づくりを今後どうしていくのか。

質問 事務の不手際が続き制度の確立が急務。特にハイスクな分野からまずはスタートし、効率的な行政運営を目指すべき。

市長 事務処理マニュアルの再構築と定期的な見直しとともに、内部統制に早期に取り組んで行く。



《Q》4年生から6年生までの学童クラブの拡充を

《A》対象学年の引き上げを検討していく

西川 美佐保 議員（公明党）



小学校4年生以降も対応できる「学童等の居場所」の拡充を

国では、平成27年度から学童クラブの対象児童を小学校6年生まで拡大したが、市では小学校3年生までの事業となっている。

質問 学校内への設置と現学童クラブの活用で、6年生までの受け入れは十分可能では。

市長 平成31年2月、保護者550人に4年生以上の学童の利用についてアンケート調査を行った。その結果、一定数の利用希望があったことから、対象学年の引き上げについて検討する。

子どもの権利条約

近年、子どもの貧困や児童虐待、いじめなど深刻な問題がある。

質問 母子健康手帳に条約の条文を掲載しては。

市長 今後、母子健康手帳の内容を検討する。

質問 差別の禁止、子どもの意見の尊重、体罰などの緊急措置にどう取り組むのか。



「子どもの権利条約」が記載された世田谷区の母子手帳

市長 今年度中に策定予定の「第2期羽村市子ども子育て支援事業計画」に「子どもの権利の尊重」を新たに掲げる。

道路の予防保全を

質問 スマートフォンを活用した道路パトロール支援サービスの導入を。

市長 安価で効率的であるようなので、次期プログラム策定時に導入を検討する。

質問 路面下空洞調査の導入を。

市長 舗装の沈下など、調査の必要な路線に実施を検討する。

※道路パトロール支援サービス：スマートフォンを車に搭載して走行することで、舗装の劣化状態について簡易的な診断をするもの



《Q》防災計画に合理的配慮を盛り込むべきでは？

《A》改定時に盛り込む

大塚 あかね 議員（令和かがやき）



インクルーシブ

防災対策について

羽村市の防災力を高めるために、災害時にあらゆる人の命を支える「インクルーシブ防災」に取り組むべきと考える。

質問 避難行動要支援者個別避難計画を策定すべきでは。

市長 対象者を類型化したうえで、類型ごとの支援計画を作成し、民生委員、町内会・自治会等、避難支援者等と協議していく。

質問 災害支援において、合理的配慮は義務であることとを羽村市地域防災計画に盛り込んでいかかがか。

市長 改定時に盛り込む。

質問 避難所運営への要配慮

市長 改定時に盛り込む。避難所運営への要配慮



文京区の土のうステーション

※キッズゾーン：保育園児ら未就学児が安心して歩けるよう、ドライパーに安全運転を促す地帯のこと



《Q》指名競争入札に参加登録している市内事業者数は

《A》工事関係は 49 事業者、物品関係は 44 事業者

富松 崇 議員（新国会）



市内事業者と共に

発展していく街へ

工事・物品購入等、契約事務について

質問 指名競争入札に参加登録している市内事業者数は。

市長 令和元年10月末で工事関係は49事業者、物品関係は44事業者である。

質問 市発注や関連する工事・物品購入は、より多く市内事業者が受注できるように、さらに配慮が必要では。

市長 地方公共団体の調達においては、一般競争入札が原則であるが、市内事業者の育成及び、受注機会の確保の観点から、「制限付き一般競争入札」と「指名

	発注件数	
	工事	物品
平成30年度	85件 [市内事業者56件 市外事業者29件]	156件 [市内事業者41件 市外事業者115件]
平成29年度	77件 [市内事業者53件 市外事業者24件]	161件 [市内事業者42件 市外事業者119件]

	発注金額 (単位：千円)	
	工事	物品
平成30年度	670,896	74,476
平成29年度	690,696	93,933

(事務報告書・市長答弁より)

市発注の工事・物品購入件数内訳

市中で、年度により予算額が増減することはあるが、道路維持保全計画等に基づき、計画的な整備が進められるよう、特定財源の確保に努めながら取り組んでいく。



《Q》気象観測装置「ポテカ」は利活用されたか

《A》今回の台風対応で効果的であり、今後も活用する

高田 和登 議員（つながる力）



台風19号の課題と

教訓について

質問 昨年の9月議会で一般質問した、気象観測装置「ポテカ」は、大いに利活用できたと考えるか。

市長 今回の台風対応において、今年度設置した気象観測装置により、風速や雨量などのデータをリアルタイムで得られ効果的であった。今後も、情報収集のツールとして活用する。

質問 「ポテカ」を増設すべきと考えるか。

市長 市内で気象条件が地域によって著しく変わることは考えにくく、現在のところ、増設する考えはない。

質問 2017年3月議会で防災行政無線のデジタル



市役所屋上に設置した気象観測装置「ポテカ」

質問 羽村市域での多摩川の水位を計測する体制になっているか。

市長 国土交通省設置の河川監視カメラや職員が監視を行っている。

■その他の質問
「学校図書館・図書館の連携について」



《Q》ニプロ株式会社の関連会社の進出情報は

《A》多くの関連企業が進出希望を持っている

石居 尚郎 議員（公明党）



ニプロ株式会社

進出について

質問 関連会社の進出情報について聞く。

市長 関連企業は約90社。多くの関連企業が市内や近隣への進出希望を持っていると聞いている。

質問 市民の住環境及び交通対策の整備計画はどうか。

市長 周辺道路整備は、交通安全上重要であり、市道第202号線及び、3022号線の歩行空間の確保や整備について取り組む。

質問 職住近接のまちづくりを目指す新ビジョンは。

市長 企業が操業しやすい環境整備、子育て・教育環境の整備についても、積極



神明台2丁目に建設が進むニプロ株式会社

的に推進していく。

避難勧告・避難指示について

質問 動物の同行避難の体制をなぜ整えなかったのか。

市長 今回は避難所により受入体制に差があった。今後、風水害時におけるペット飼育場所も事前に定めるなどの改善を図るとともに、同行避難を含めた災害時におけるペット対策について、市民に広く周知していく。

質問 車での避難について、柔軟な対応ができなかったのか。

市長 徒歩での避難が原則である。歩行が困難な方等は、車での避難を認めるなどの対応について整理していく。

質問 福祉避難所は最初から設置すべきでなかったか。

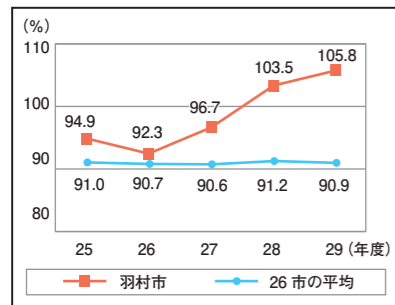
市長 実際に市内福祉施設で避難者の受入れが行われた。今後、福祉避難所の開設時期について、関係機関と調整・検討していく。



《Q》厳しい財政状況をどう打開するか

《A》事務事業の見直しに全庁を挙げて取り組む

馳平 耕三 議員（令和かがやき）



経常収支比率の推移

羽村市の財政について問う
質問 平成29年度決算で市の経常収支比率は26市、類似団体の中で何番目か。
市長 105・8%で26市及び類似団体で一番高い比率になっている。
質問 緊急経済財政対策を実施した平成22年度と29年度を比較して経常収支比率、基金残高はどうなっているか。
市長 経常収支比率は8・3ポイント上昇し、財政調整基金は約7億5400万円減少している。
質問 平成22年度から今までに実施した新規事業数と予算総額、同様に廃止した事業数と総額はいくらかか。
市長 新規事業は333件

予算総額で約109億円、廃止した事業は集計していない。
質問 緊急経済財政対策を実施した時と比較しても、かなり厳しい財政状況だが何故、緊急経済財政対策を実施しないのか。
市長 今回は景気の悪化によるものではなく、税制改正に伴う税収の減少、少子高齢化に伴う扶助費の増加などが原因であることから、事務事業の見直しに全庁を挙げて取り組んでいく。
質問 羽村駅西口区画整理が令和2年度から本格化する。令和5年度、10年度、15年度の市民一人当たりの基金残高、市債の予想は。
市長 一人当たりの基金はそれぞれ2万円、市債は令和5年度約22万円、10年度27万円、15年度は28万円と試算している。
その他の質問
 「中小企業基本条例(仮)制定の進捗度を問う」「羽村市公共施設の維持管理について」



《Q》災害協定施設と福祉避難所を同時開設すべきでは

《A》状況に応じ、協力要請を行うことも検討する

秋山 義徳 議員（新政会）



羽村東小学校プール下急傾斜地

災害に強いまちづくり②
質問 災害協定施設と福祉避難所を同時開設すべきと思うかがか。
市長 状況に応じ、協力要請を行う事も検討する。
質問 要配慮者からの問合せ時に福祉避難所を案内できなかったのはなぜか。
市長 台風第19号の際は、福祉避難所の開設には至らなかった。市内福祉施設で避難者の受入れが行われた事や、避難所で妊娠中の方への対応が必要であった事を踏まえ、福祉避難所の開設時期について、関係機関と調整・検討していく。
質問 防災行政無線について、スマートフォンアプリで、スマートフォン



の導入や防災ラジオ配布の検討を。
市長 防災行政無線のデジタル化を進めており、聴覚障害者などの世帯への個別受信機と文字表示装置の貸与や、スマートフォンによる防災行政無線放送の受信アプリの導入について検討していく。
質問 羽村東小学校・羽村第一中学校ともに多摩川側が急傾斜地になって川側が急傾斜地になっている。台風により大量の雨水が、傾斜地から流れ出ていたが避難所の安全に問題ないのか。
市長 羽村東小学校・羽村第一中学校の多摩川側の急傾斜地の一部に、土砂災害警戒区域に指定された場所がある。羽村東小学校敷地の一部が含まれているが、体育館は指定区域外であるため、避難所としての安全は確保されている。

《Q》羽村市のCO2削減目標の達成状況は

《A》5.7パーセントの超過である

鈴木 拓也 議員（共産党）



市役所に設置されている太陽光パネル

羽村市の温暖化対策はどうなっている？
質問 CO2排出量を、来年度までに1990年度比でマイナス7%にするという市の目標の達成状況は。
市長 目標値に対して、5・7%の超過となっている。
質問 産業、家庭、運輸、廃棄物など、分野別の状況は。
市長 産業部門をのぞき、実績値が目標値を超えている。原発の停止の長期化や、猛暑・寒波の影響だととらえている。
質問 市役所のCO2排出状況はどうか。
市長 目標に対して2・9%の超過である。
質問 目標達成にむけて、

どんな努力が必要か。
市長 市のCO2排出は、産業部門の割合が高い特徴がある。工場設備や車両のいつそうの低炭素化が必要。
質問 「創省エネルギー化助成制度」は継続・充実すべきでは。
市長 技術革新や市民ニーズの変化を取り入れ、新たな制度を構築する。
質問 国に対して、温暖化対策の強化を働きかける必要があるのではないか。
市長 現段階で、その考えはない。
ひきこもり支援を本格的にすすめるよう②
質問 これまで市に、何件の相談が寄せられたか。
市長 5年間で27件のひきこもり相談があった。
質問 まだまだ対応の規模は少なすぎると認識しているか。
市長 多くの方が潜在化していることを認識している。相談・支援を継続する。



《Q》「事業には強制力がある」は「協議移転」に反するが

《A》誤解を招かぬよう、一層適切な対応に努める

山崎 陽一 議員（世論）



川崎一丁目地区

区画整理撤回要求第51弾
質問 事業17年目、これまでの仮換地指定箇所数と、換地先に住んだ地権者数は。
市長 2003年からの仮換地指定は60か所。使用開始23か所で再建居住は12棟。
質問 駅前暫定整備の仮住まい年数と、いつ戻れるか。
市長 2007年度から2011年度に暫定整備し、2025年度に駅前周辺換地の使用開始を予定する。
質問 年度別移転予定数は。
市長 2018年度移転権利者は43名。19年度22名。20年度移転は約100名。
質問 移転補償での建物ローン残高の扱いは。
市長 ローンは補償対象外。



質問 移転補償契約成立は、市長 双方の署名・押印で成立し、移転等を行う。
質問 「事業には強制力がある」の発言。「協議移転」の市長答弁に反するが。
市長 制度上の仕組みの説明をした。誤解を招かぬよう一層適切な対応に努める。
質問 答弁に反する「直接移転はできない」の理由。
市長 換地先が空いている時の再築手法。可能かは事業進捗状況を見極め対応する。
質問 「権利者事情で交渉が進まねば、新たな範囲で」とは移転時期変更のことか。
市長 優先地区に限らず、工程見直しなどで対応する。
質問 換地変更された地権者がいる。理由は。
市長 移転の効果的推進で事前に承諾を得て変更。
質問 第3回変更も地裁に提訴された。市の見解は。
市長 事業計画変更取り消し訴訟で適法性を主張する。

《Q》流れるプールは、市民の声を受けとめ再開すべき
 《A》プールに代わる、年間市民が利用できる施設へ検討中
 浜中 順 議員（日本共産党）



水上公園の流れるプール

流れるプールは、市民の声をしっかり受けとめ再開すべき
質問 大幅なりニューアルでなくても費用がかかりすぎない長寿命化について検討されたか。その内容は。
市長 施設全体を長寿命化するための費用が5年間の合計で1億3千万円、管理運営費を含めると約2億2千万円と見込まれる。市では年間を通して市民が利用でき、かつ維持管理コストの少ない施設や周辺利用の検討を進めることとした。
教員を一層追いつめる変形労働時間制は導入すべきでない
質問 「※1年単位の変形労働時間制」は、長時間労働を改善するものではなく、

水流入1件の浸水被害があった。そこで、13日早朝に現地にて状況確認を行い、消毒のためのクレゾールや消石灰を配布し、また、災害ごみの受け入れを行った。
市長 このような台風が今後も頻繁に発生することも想定されるため、防災対策をより強化していく。今回は市内において人的な被害はなかったが、避難体制や避難所運営など様々な課題が明確となった。そこで、職員、消防団員、交通安全推進委員、町内会・自治会長から、今回の災害対応における課題等を調査し、「令和元年度台風第19号の対応の記録」としてまとめ、解決に向けた対策を実施していく。
教育長 今臨時国会審議のなかで、この制度は長時間労働を助長するのではないかなど、さまざまな課題が議論されているので、今後、国や東京都、他自治体の動向を注視しながら慎重に検討していく。
質問 教員の長時間労働を是正する働き方改革は、今年度、どのように具体化しているのか。廃止や縮小すべき事務の点検はどうか。
教育長 「羽村市立学校における働き方改革推進プラン」の長時間労働縮減に向けた取組みの方向性の一つとして「教員業務の見直しと業務改善の推進」を掲げている。そのため、会議や調査等の精選と縮減、資料の電子化などを挙げ、各学校で改善に取り組んでいる。 ※1年間単位の変形労働時間制：「繁忙期」に1日10時間労働まで可能とし、夏休みなどの「閑散期」と合わせ平均で1日当たり8時間に納める制度

《Q》「水はむら」の製造を中止してはどうか
 《A》今後も製造・販売を継続していく
 門間 淑子 議員（市民ネットワーク）



産業祭の消費者展の展示

プラスチック削減に向けペットボトル水の製造を中止しよう
質問 「水はむら」は、羽村の水道水の美味しさをPRすることを目的に製造され、12年が経過した。目的は達成されたか。プラスチック削減に向け、製造を中止してはどうか。
市長 市の知名度向上に寄与しており、今後もペットボトル水「水はむら」の製造と販売を通じてPRに努めていく。
質問 スタートからの生産量はどれほどか。PR用、災害支援用、販売用の割合は。
市長 平成19年11月から令

和元年11月1日までの製造本数は、70万4880本である。在庫本数1万3523本を除いてPR用が6・6%、災害支援用が2・5%、販売用が90・9%である。
大規模災害への対策は十分か
質問 台風19号では、羽村東小学校体育館は段差があるため避難が困難と判断した世帯がある。今後も避難所とするならバリアフリー対策が必要ではないか。
市長 スペース的にスロープ対応が困難なので、職員による介助や校舎への案内を行う。福祉避難所の活用を、早い段階で調整・検討する。
その他の質問
 「入札改革を進めよう」



《Q》今後、さらに水害対策が必要と考えるか
 《A》防災対策をより強化していく
 印南 修太 議員（新政会）



土のうを運ぶ町内会の方たち

台風第19号による被害への対応について
質問 避難所などで、けがをしたり体調を崩した市民や職員はいなかったか。
市長 市内12か所と応援協定による避難所を2か所開設し、1133人の避難者を受け入れた。その中には、発熱をした方が1名、妊娠中で学校保健室を使用した方が1名おり、ともに市職員の保健師が対応した。また、体調不良を訴えた職員が2名いた。
質問 浸水被害にあった家屋等への対応はどうしたか。
市長 市内において家屋の床下浸水2件、地下駐車場への水流入1件、倉庫への

水流入1件の浸水被害があった。そこで、13日早朝に現地にて状況確認を行い、消毒のためのクレゾールや消石灰を配布し、また、災害ごみの受け入れを行った。
市長 このような台風が今後も頻繁に発生することも想定されるため、防災対策をより強化していく。今回は市内において人的な被害はなかったが、避難体制や避難所運営など様々な課題が明確となった。そこで、職員、消防団員、交通安全推進委員、町内会・自治会長から、今回の災害対応における課題等を調査し、「令和元年度台風第19号の対応の記録」としてまとめ、解決に向けた対策を実施していく。



《Q》新学習指導要領は、従来とどこが異なるか
 《A》総合的な学習のプログラミング教育など
 梶 正明 議員（新しい風）



パソコン室で学習する様子 (武蔵野小学校)

新学習指導要領の取り組みについて
質問 新学習指導要領は、これまでとどこが異なるか。
教育長 小学校の第3・4学年での外国語活動、第5・6学年で英語の履修、プログラミング教育の導入である。
質問 5・6年生では外国語の授業が成績をつける教科となるが、担任教諭が受け持つのか。その場合、指導力は確保されているか。
教育長 現在、羽村市全ての小学校で、第1学年から第6学年まで英語学習を実施しており、学級担任が授業を指導している。教員の指導力向上を図り、毎年、年度当初に市で採用している

英語コーディネーターを講師として教員研修を実施している。
質問 教科化された道徳の志向は。
教育長 これまでの授業から、「考え、議論する道徳」への転換が求められている。
質問 プログラミング教育とは。
教育長 「コンピュータに意図した処理を行うように指示することができることを体験させながら、将来どのような職業に就くとしても時代を超えて普遍的に求められる力としてのプログラミング的思考を育成するもの」としている。
災害廃棄物の処理方法について
質問 災害廃棄物の分別は、どのようにするか。
市長 国は、災害廃棄物を12種類に分別するよう求めており、市では、災害の状況に応じて分別区分を決定し、市民に周知していく。



令和元年常任委員会視察報告

視察 しました

私たち市議会議員は、先進的な取り組みや、特徴ある施策を行って事業効果をあげている自治体や団体に学び、羽村市が抱えるさまざまな課題などについて理解を深めるとともに、今後の行政運営に反映させるため、行政視察を行っています。

令和元年に行った常任委員会の主な行政視察の概要を報告します。

総務委員会



(左2番目から) 梶 正明副委員長、石居尚郎委員、橋本弘山委員
(左6番目から) 濱中俊男委員、高田和登委員長、水野義裕委員

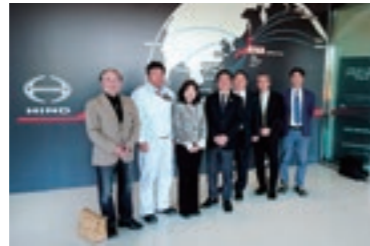
研究テーマ

- ・学校教育について
- ・市の政策及び基本構想等重要施策について
- ・市民参画及び協働について

視察概要

- ❖ 9月30日 岐阜県山県市
「学校図書館の地域への開放について」
- ❖ 10月1日 愛知県豊田市
「SDGsの取り組みについて」
- ❖ 10月2日 愛知県新城市
「若者議会の取組みについて」

経済委員会



(左) 山崎陽一委員長
(左3番目から) 西川美佐保副委員長、富永訓正委員、馳平耕三委員、浜中 順委員、印南修太委員

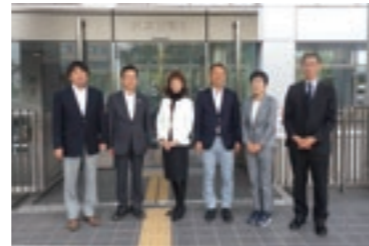
研究テーマ

- ・商工業の振興について

視察概要

- ❖ 10月7日 日野自動車株式会社 羽村工場
- ❖ 11月21日 日野自動車株式会社 古河工場
「企業と行政の連携及び行政の支援について」

厚生委員会



(左から) 富松 崇委員、中嶋 勝委員、大塚あかね委員長、秋山義徳委員、門間淑子委員、鈴木拓也副委員長

研究テーマ

- ・市民の健康管理及び高齢福祉について

視察概要

- ❖ 10月17日 愛知県大府市
「認知症対策について・常設サロンについて」
- ❖ 10月18日 愛知県東海市
「いきいき元気推進事業について」

《Q》台風19号の教訓をどう活かすか

《A》とりまとめた課題を早期に実施

濱中 俊男 議員 (令和かがやき)



台風19号の際に開設された避難所

台風19号からの教訓
質問 開設された避難所の状況はどうであったか。
市長 12か所の避難所と2か所の災害協定による協力避難所を開設し、1133人の避難者を受け入れた。今回初めての実践となり、さまざまな課題や教訓が出てきた。具体的には①車を利用した避難者対応②ペットの避難所での飼育場所の確保③気象状況などの情報提供④避難所運営上必要な物資の準備⑤避難所担当職員交代要員などである。
質問 水田への水路の復旧はどうか。
市長 補助金などを活用した資金計画などの協議が整った上で、渇水期に河川敷内の堆積土砂を取り除いたり、整地工事を施工していく。

質問 市長が、消防団員・職員の災害現場からの撤収命令を出すのはどのような場合か。
市長 災害応急対策の現場において、河川の氾濫や土砂災害が発生する危険が切迫した際に撤収命令を出す。また、現場において危険な状況が切迫していると判断した場合、自ら撤収する臨機応変な対応も必要である。
質問 今回の教訓を今後どのように活かすか。
市長 課題を調査し、「令和元年度台風第19号の対応の記録」としてまとめ、課題の解決に向けた対策を早期に実施する。



《Q》区画整理で新築したいが、高齢でローンが組めない

《A》高齢者のローンは課題と考え解決に向けて対応する

水野 義裕 議員 (令和かがやき)



工事が進む川崎一丁目周辺

羽村駅西口土地区画整理 事業について
質問 補償の説明資料「建物等の移転・補償のご案内」の「補償金算定」で、補償対象を8つの項目に分けているが、これ以外にはないか。
市長 店舗などの一時休業に伴う営業補償や農業を一時休止する場合の農業補償などがある。
質問 項目毎に算定された補償金を、その項目以外に流用することはできるか。
市長 各項目の補償額を算定・合算し、支払うので、支出方法等は、権利者の判断に委ねられる。所得税がかかる場合があるので、協議の際に説明している。

質問 税金等で4つの課、9つの項目、市以外に9つの主要関係機関連絡先が掲載されているが、市の関連するものは、二元的に支援できないか。
市長 各税目は、専門性が高く、特に所得税等の国税に市職員が対応できる範囲が限られており、統一的に対応することは難しい。
質問 「家を新築したいが、前のローンが残っているし、高齢のためローンも組めない」という声があるが。
市長 住宅ローン残高は補償の対象外。高齢者には、住宅ローンは課題となると捉えており、課題の解決に向けて対応していく。

質問 「さまざまな手続きが必要だが、市は何も手伝ってくれない」との声には。
市長 権利者の皆様の精神的な負担の軽減が図られるよう、対応に努めてきている。
■その他の質問
 「義務教育等に関連して」



学校図書館の

地域住民への開放

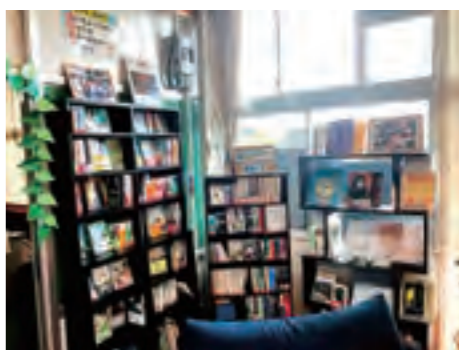
〈岐阜県山県市〉

山県市立桜尾小学校図書館

山県市立桜尾小学校は、岐阜市の北、岐阜駅からバスで約40分の距離にある。訪れた時、学校は黄



▲学年ごとの推薦図書などがわかりやすく展示されている



▲地域の方へのお勧めコーナー「桜人コーナー」

金色の稲穂に囲まれていた。

古くからの歴史ある山県市は、明智光秀ゆかりの地を名乗っていて、戦国武将の活躍した時代に思いを馳せる土地でもある。今は、空の青と山の緑の中で、金属加工業や果樹農業などの産業を中心に2万7千人が暮らす市である。

山県市は、公立小中学校として全国で初めてコミュニティ型図書館ウェブサービス「リブライズ」を活用した蔵書のデータベース化、ネットワーキ化を進めてきた。市内の蔵書約9万5千冊が「リブライズ」に登録されている。

若者議会の取り組み

〈愛知県新城市〉

若者が活躍できるまち

愛知県東部に位置する新城市において、平成25年の市長選で3選を果たした穂積市長の公約は「若者が活躍するまちをめざす」であった。翌年12月には全国初の若者条例・若者議会条例が制定された。若者条例では若者政策の策定、若者議会の設置が定められ、若者が活躍するまちづくりの推進に資する提案には市の予算が1千万円を限度に計上される。

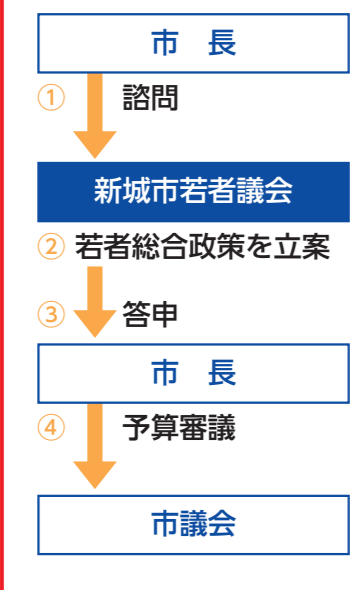
若者議会は市長の諮問機関であり、委員は20人以内、概ね16歳から29歳で市内在住・在学・在勤の若者



▲第2期の若者議会のメンバー

で構成される。委員任期は1年、委員の身分は非常勤特別職で報酬と交通費が支給される。今年度で5期目となるが、これまでに「図書館リノベーション事業」「消防団加入促進事業」「教育ブランドインテグレーション」等々、多彩な提案が

新城市若者議会の仕組み



予算化、実施された。毎年11月に市長に政策答申し、次年度予算に反映させている。今回の視察研修の説明員は、若者議会OBの竹下修平市議会

学校・家庭・地域が一体に

桜尾小学校ではこの導入の機を活かして、学校運営協議会が中心となり地域住民へ学校図書館開放の取り組みを行っている。

学校が開いている時間内であれば、図書館で閲覧や貸し出しが可能である。

山下敦子校長は「親が子どもに

SDGs未来都市に学ぶ

〈愛知県豊田市〉

SDGsとは、Sustainable Development Goalsの略で「持続可能な開発目標」という意味である。国連192か国が全会一致で決定した国際目標。2030年達成に向けて、世界的な共通課題に対して17の大きな目標を設定。目標達成のための具体的な項目を169のターゲットとしている。

SDGsは、全ての国と地域が取り組む地球版総合計画のよなもの。日本でも先進地域は

推進する等、環境に配慮している先進都市でもある。

豊田市の取り組み

水素燃料自動車等の低炭素交通システム、小型二人乗り電動自転車システム等々、SDGsとモビリティを掛け合わせた取り組みを進める中で、まずは職員にSDGs



▲SDGsの17の目標をわかりやすく解説したボード



▲水素で走る燃料電池バス

読み聞かせたい本や、大人が読んでも意外に面白い本もある。最近では安全の面から学校に気軽に立ち入りできなくなっているが、本を介して地域との繋がりを作りたい」と話していた。

地域の方の利用も徐々に増えてきているようだが、保護者以外の市民が図書館を利用するのは、呼びかけだけでは難しいと感じた。

豊田市と羽村市の共通点

視察先を選定した理由は、羽村市との共通点があったこと。豊田市は、2009年に環境モデル都市に選定され、2010年には、次世代エネルギー・社会システム実証地域にも選定された環境都市。羽村市もまた、太陽光発電システムにより電気バス「はむらん」を走らせる「AZEMSプロジェクト」を

の意識を浸透すべく啓発活動をしているとのことだった。

羽村市も、教育・子育て、まちづくりなどさまざまな視点からSDGsの理念をもった施策を提案していきたい。

成は我々の責務である事を強く感じた。

議員であった。IT関連の仕事を辞め、故郷のために働く彼の熱意を感じ、私たちが「世代のリレー」の大切さを痛感した。羽村市においても意欲と情熱があり、故郷を愛する若者の育

操業半世紀

羽村の発展にも貢献

〈日野自動車株式会社羽村工場〉

日野自動車は、1942年設立。日野、羽村、新田、古河に主要4工場があり、売上高は約2兆円、従業員は3万4千人（連結）という。羽村工場は1963年操業開始で、面積75万㎡。従業員数は4400人、



▲羽村工場の全景

トヨタ受託車の生産ラインを見学
SUV車「ランドクルーザープラド」「FJクルーザー」の生産ラインは連続2直交代制で、従業員平均年齢は34歳。ボディの溶接、塗装工程のほとんどは無人のオートメーション化が図られている。別ラインでエンジンやシートなどを取り付けられたシャーシにボディを載せ、素早く工員が内装を整備。ボディ形状や色が多数混在しても効率よく生産されるシステムで、見ていると2分に1台くらいの速さで完成だ。工場内に部品の過剰在庫はなく、無人の運搬台車が必要

産業の立地は地域経済活性化の柱です。「職住近接」を掲げ、都内でも有数の製造品出荷額を誇る羽村市。その代表的企業である日野自動車株式会社羽村工場と、最新設備の茨城県・古河工場を視察、今後の展開をうかがいました。

要部品を運び、騒音も少ない。3か月前から生産計画をたて、必要部品や人員などを計算。1か月前に確定して発注されるという。無駄を省くトヨタ生産方式を取り入れて生産性を高め、厳格な品質管理のもと高品質・高性能の車両を効率よく生産する。



▲2トントラック生産ライン



▲ダカールラリー参戦車（羽村市産業祭）

社会貢献活動にも積極的

地元へのCSR/社会貢献活動にも積極的だ。敷地内での桜まつり、地域の夏祭りや産業祭への参加。自然環境保護のボランティア活動にも加わる。また、東京唯一の自動車生産工場として小学校5年生の社会科見学を年間150校、1万1千人も受け入れている。一般見学も国内外から3500人が訪れるというから羽村市の認知度アップにも貢献されている。ますますの発展を期待したい。

環境配慮

最新鋭の製造ライン

〈日野自動車株式会社古河工場〉

日野自動車・古河工場は茨城県古河市郊外に85万㎡の広大な敷地を構え、2017年に本格稼働した。日野、羽村、新田に



▲古河工場の全景

稼働した。日野、羽村、新田に次ぐ4番目の工場で、圏央道の開通で本社から1時間半以内の距離も都合良かった。現在、従業員約2500人、地元採用も推進しているが、多くは日野、羽村工場からの異動者である。工場長も23年間羽村工場での勤務だったという。

少量、多品種を1つのラインで生産

日野のトラックやバスは、世界80を超える国と地域で活躍している。その中核が古河工場で、現在、大型と中型のトラックを1日当たり180台、年間4万5千台の生産能力を持つ。見学した完成車組立工場は、外光も取り入れ明るく

て広い。日野工場では3本あった組立ラインを1本の共有ラインに集約。異なる車種や台数を、モジュール（規格）化することで素早く完成する最先端技術だ。最後の検査工程は人による入念なチェック。さまざまな型式や色のトラックがおよそ5分ごとに完成していく工法に目を奪われた。また、海外のノックダウン（現地組立）工場への部品供給の中心として、マザー工場の役割もあるという。地元雇用だけでなく、社会貢献活動での地域活性化効果も大きい。近隣小学生への環境学習や交通安全教室、市内のイベントへの参加・協賛、行政や町内会との懇談も行い相互協力を図っているという。

羽村、古河工場それぞれの意味

日野工場が古河市に移転することをうけて、「羽村工場も移転か」と心配した経緯があった。しかし両工場の視察で、良質な工場用水に恵まれた羽村、広大な敷地の古河とそれぞれの特長や、生産体制の位置づけの違いを知った。工場のある両市は、災害時相互応援協定を結び、相互の防災訓練や産業祭にも参加している。

古河工場のコンセプトは「3つのやさしさ」だ。「地球環境にやさしい」「働く人にやさしい」「地域にやさしい」は自動車工場の将来像を示しているのかもしれない。



▲古河工場で説明を受ける

日野自動車の工場・施設



▲1レーンで多品種を生産する



▲社会貢献活動の一つ
子どもたちの交通安全教室

認知症対策について

〈愛知県大府市〉

認知症支援に対する取組み

全国的に高齢化が進展する中、認知症になる方も増えている現状で、国においても認知症対策基本法の整備を進めている。団塊の世代が75歳以上になり、5人に1人が後期高齢者となる2025年には、認知症の方は700万人にもなると予想されている。早急に対策の強化が必要である。羽村市においても例外ではない。しかし人生100年時代、認知症になっても尊厳をもっていつまでも元気で過ごしたいもの。そこで、先進的に対策を進めている愛知県大府市を訪問し、各種施策を学んできた。

全国初となる条例を制定

大府市は産業構造等の要因もあり、



▲大府市の取組みについて説明を受ける

高齢化率は低く、認知症有病率も高くなかった。しかし、平成19年市内で発生した認知症による鉄道事故をきっかけに、県のモデル事業として各種対策を推進。

大きな4本柱として、①普及啓発・②容態に応じた医療介護の提供・③見守り・地域支援体制づくり、④認知症の本人・家族への支援を実施。現在認知症サポーターの養成や集える場所のカフェ、事業所との連携、GPS端末サービスなどは多くの自治体で実施しているところだが、特筆すべきは全国初となる「認知症に対

する不安のないまちづくり推進条例」の制定で対策を大きく前進させたことである。また、個人賠償責任保険に市が加入することで、法律上被る損害を無償で補償。また、行方不明者捜索訓練を自治体単位で実施。医師会・歯科医師会・薬剤師会及び薬品企業との連携協定の締結など先進的に進めている。それらをケーブルテレビや広報等で周知して多くの方々と共有していることも見逃すことはできない。これらの施策を展開することで、認知症になっても安心して住み続けることができることがうかがえた。

最後に大府市では「徘徊」という言葉は使わないとのこと。本人への尊重や配慮、また認知症に対する深い思いを感じることで、大変有意義な視察となった。

地域の中にあるみんなの居場所

その他に、介護予防として高齢者等の集いの場となっている「常設サロン」も視察した。週4日以上、1日4時間以上を個人宅や空き家、空き店舗、集会所等を活用して開催する事を条件に、市が補助している。居場所、ふれあいの場所として大変賑わっていた。その他に月1回以上のふれあいサロンも市内100か所以上で開催されていた。

常設サロン ふれあいの居場所 長草横丁



ボランティアスタッフが作る手作りの食事(500円)

常設サロンは、地域住民の居場所であり、誰もが気軽に立ち寄ることができます。食事・喫茶や趣味の活動などを行うことができます。

いきいき

元気推進事業について

〈愛知県東海市〉

東海市は昭和44年に上野町と横須賀町が合併し、愛知県で23番目の市として誕生。中部圏最大の鉄鋼基地として臨海工業地帯を形成している一方、県内でも有数の生産量を誇る洋ランや全国有数のフキの産地という都市近郊農業地帯を形成している。面積は約43平方キロメートルで、人口は平成31年4月で約11万5千人。

愛知県の市区町村別の平均寿命が公表されたところ、東海市の順位がとても低く、また、特定健康診査受診率も低かった。市民の健康意識の低さを改善するため、健康分野だけでなく都市基盤や生涯学習・生涯スポーツなどさまざまな分野からの連携を図りながら2年間の準備期間を経て「いきいき元気推進事業」を平成23年度から開始した。

「いきいき元気推進事業」のはじまりは

の拠点として保健福祉センターや健康ふれあい交流館などが整備された複合施設であり、指定管理者が管理・運営している。

生きがいを持ち

健康に暮らすために

「生きがいがあり健康なまち東海市」を目指し、市独自の取組みを行い、市民一人ひとりが生きがいを持ち健康に暮らすことができる生活環境の整備を進めている。

独自の取り組み

- 1 「運動・食生活応援メニュー」の提供：健康診断の結果をもとに、一人ひとりにあったウォーキングペースやエネルギー量等の目安がわかるメニューを提供。
- 2 「いきいき元気メニュー」の提供：市内飲食店と管理栄養士が連携して考えた一人ひとりの健康を応援するメニューを市内協力店舗で提供。
- 3 市内事業所と連携：働く世代への取組みとして、市内事業所を

取組みの結果

実施から8年が経ち、平均寿命や1人当たりの医療費の抑制など一定の効果が表れているこの事業。羽村市においても健康寿命を伸ばすことや医療費の抑制などの課題は多く、今回、東海市で学んだことを参考に、議会として取り組んでいきたい。



▲東海市しあわせ村(東海市ウェブサイトより)



▲健康ふれあい交流館のトレーニング室を利用する市民の皆さん



▲運動・食生活応援メニューのパンフレット



▲トマトジュースによる乾杯を推奨している

しぎかいカレンダー

●3月定例会の予定●

日	月	火	水	木	金	土
			2/19 陳情メ	20	21 議運	22
23	24	25	26	27	28	29
3/1	2	3 本会議	4 本会議	5 本会議	6 予特 (補正)	7
8	9 本会議	10	11 常任委	12 常任委	13	14
15	16 予特	17 予特	18 予特	19	20	21
22	23	24	25	26 本会議	27	28
29	30	31				

- 陳情メ…請願・陳情の3月定例会審議予定分の締切
- 議運…議会運営委員会
- 常任委…常任委員会（総務、経済、厚生）
- 予特（補正）
…一般会計等予算審査特別委員会（令和元年度補正予算）
- 予特…一般会計等予算審査特別委員会（令和2年度予算）

※会議の予定は変更になる場合があります。
詳細は議会事務局までお問合せください。

議会を見よう！知ろう！

～次の定例会は3月～

本会議でどんなことがどのように話し合われているのか、様々な手段で知ることができます。皆さんの暮らしに直結していることばかりです。ぜひご覧ください。

- 1 議場で傍聴 ライブで！**
当日、直接議場へおいでください。
- 2 ケーブルテレビで生中継**
TCN 多摩ケーブルネットワークで、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください。
- 3 インターネットで録画中継**
開催日の3日後から、インターネットで録画中継を見ることができます。
- 4 会議録で読む**
会議終了後2か月程度で会議録ができあがります。冊子または、羽村市公式ウェブサイトから見ることができます。

羽村市公式サイト

<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽村市議会 検索 



編集後記

昨年の暮れに興味深いニュースの放映がありました。板橋区の小学6年生たちが区議会に陳情を提出し、一部を除き採択されたというニュースでした。

放課後サッカーをしていた公園が、ある日突然使用できなくなったことが発端で議会へ陳情したとのことでした。この陳情結果を受けて、板橋区は廃校になった校庭の平日1時間開放等を行ったとニュースは伝えていました。

市議会では、皆様からの、請願・陳情を審議する役割も担っています。

(濱中)

【広報委員会委員】

中嶋 勝(委員長)
印南 修太(副委員長)
秋山 義徳 梶 正明
浜中 順 富永 訓正
大塚 あかね 濱中 俊男

発行/羽村市議会 編集/広報委員会

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042 (555) 0889
Tel 042 (555) 1111 (内線412~414、416)



「ぎかいのトビラ」は、再生紙を使用しています。